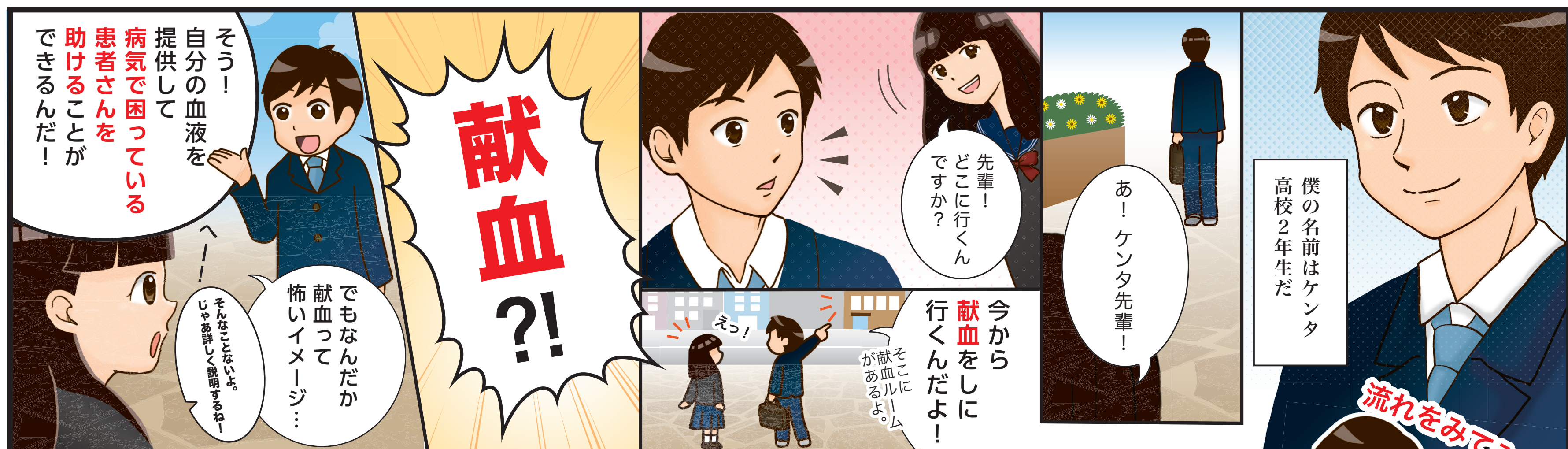


＝ 知ろう、学ぼう、献血 ＝



PROCESS 3 採血

採血ベッドに横になり、採血を開始します。採血時間は、全血献血で10～15分程度、成分献血は献血量に応じて40～90分程度時間がかかります。
※成分献血は18歳から

PROCESS 2 問診・事前検査

安全のために、健康状態を伺う質問に正確に回答します。回答に基づき、問診と血圧測定を行います。
また、ヘモグロビン濃度の測定や血液型の事前検査などを行います。

PROCESS 1 受付

受付確認票に記入します。また、本人確認のため、ご自身を証明できるものを提示します。

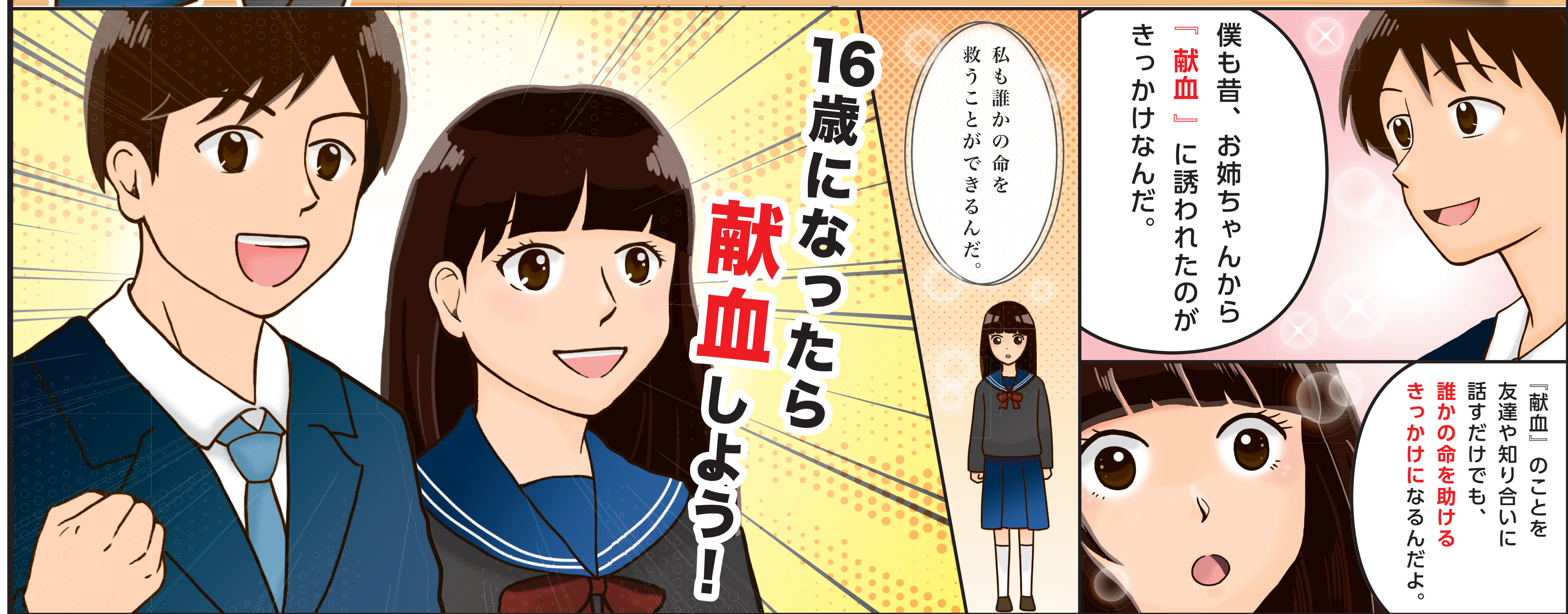
Point 献血した血液はどうなるの？

輸血用血液や医薬品となって、治療が必要な患者さんのもとに届けられます。

PROCESS 4 休憩・献血カード受取

献血後には、十分に水分補給し、少なくとも10分以上は休憩します。献血カードを受け取り、献血は終了です。

お菓子やジュースももらえますよ！



「献血」とは、病気やけがで輸血や血漿分画製剤を必要とする患者さんのために、自分の血液を無償で提供することです。病気やけがで血液が必要な患者さんは、健康な人の血液を補給して治療する必要があり、これを「輸血」といいます。また、「血漿分画製剤」は、やけどや感染症、血友病の治療などに使われる医薬品で、血液からつくられます。

【献血ができる年齢】

	200ml献血	400ml献血	成分献血
男	16歳から	17歳から	18歳から
女		18歳から	



血液は、長期保存ができず、人工的に造ることもできないため、1年を通じて継続的な献血へのご協力をお願いしています。



少子化により献血可能な人口が減少している中、特に20代～30代の献血者が減少しています。そのため、若い世代の方々のご協力が重要です。



献血についての詳しい情報は日本赤十字社のホームページをご覧ください。

日本赤十字社 献血

検索



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare